

(株)中曽根造園 2019年11月

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、感謝申し上げます。

11月23日「電子メールの日」

1994年に電子メッセージング協議会によって制定されました。
11(いい)23(ふみ)で「E文(いいメール)」という語呂合わせで、電子メールの普及を目的にされていました。今では私たちの生活に欠かせないものになっていますね。

11月の誕生花



11月27日 シラタマツバキ

花言葉：「完全な愛らしさ」

別名「初嵐」。白花の一重のツバキで、京都の名椿のひとつに数えられています。昔から茶花としても人気があります。花は抱え性の筒咲きで、つぼみが丸いのが特徴です。

11月頃から咲き始め、冬は越冬し、早春に再度花を咲かせてくれます。



11月1日 イロハモミジ

「大切な思い出、美しい変化」

秋の美しい紅葉は見事です。乾燥には弱いですが、日当たりが良く風通しの良い場所を好みます。



11月15日 オトメサザンカ

「ひたむきさ、謙虚」

淡いピンク色で中輪の八重咲きです。樹勢が強く、各地で見られます。



11月22日 サルトリイバラ

「不屈の精神、元気」

秋の生け花の花材として昔から使われています。サルをも捕らえそうな棘の様子をイバラに例えた名前で、実はユリ科です。



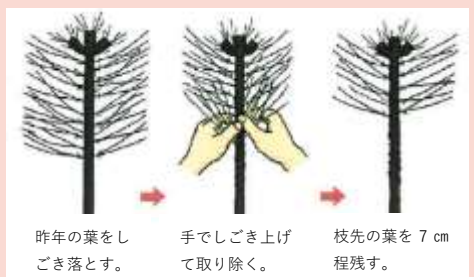
みどりのお知らせ

マツのもみあげ

「もみあげ」: 秋～冬に古い葉をしごき落として整枝すること。

マツは日差しを好みます。枝葉が伸びて茂ると、見栄えが悪くなるだけでなく、下枝まで日光が届きません。もみあげをすることで下枝にも日差しが届き、枝が枯れることを防ぎます。また、葉を透くことでマツケムシが葉の間で越冬ができにくくなるので、害虫予防にもなります。

適期は10月下旬～1月頃です。一本ずつ手作業であるため、松の大きさや状態によっては数日の作業になることもあります。



昨年の葉をしごき落とす。

手でしごき上げて取り除く。

枝先の葉を7cm程残す。

引用：「庭師の知恵袋」日本造園組合連合会 講談社



右と左の絵の中で間違いが 4 つあります。探してみましょう！答えは下にあります。

正



誤



みどりの豆知識

石灯籠の事

石灯籠は、昔は仏殿に献灯する器具として使われていたものが、飛鳥時代に仏教と共に日本に伝えられました。鎌倉時代には寺の建設が増える中、灯籠も盛んに作られたことから、現存する古い灯籠の多くに鎌倉時代のものが多く残されています。観賞用として使われ始めたのは、桃山時代の頃です。茶道の発展とともに茶庭内に持ち込まれたそうです。江戸時代には庭向きの形の燈籠が多く作られました。現在は和庭の添景物として欠かせないものとなっています。

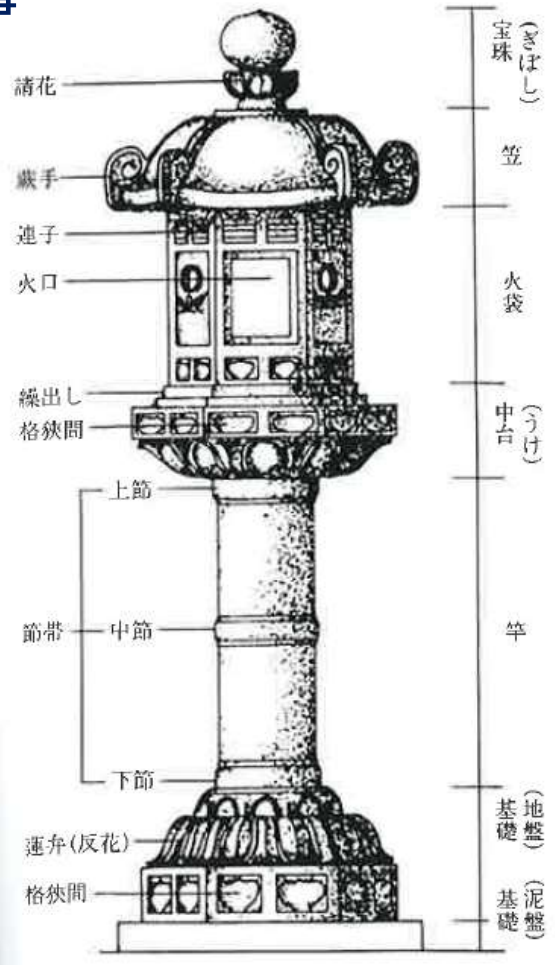
～大きく分けて3種類～

- ① 立ち灯籠： 格式ばった形で、蓮弁などの彫刻が施された基礎のもの
- ② 押込型： 竿を埋め込んだもの
- ③ 岬型、足元型： 竿がなく小型で台石の上に置く

また、雪見灯籠などの特殊な形の灯籠もあり、お庭に合わせてたくさんの種類の灯籠が作られました。



石灯籠各部の名称



引用：『ガーデニング・ハンドブック住まいの庭づくり事典』井上元 日本フィニッシュ



- みどりでクイズの答え
- ① 中央のコラサキキノの写真の中にシウメイキノキがある。
 - ② 右上の茶色の葉っぱがない。
 - ③ 大きなリスが持っているどんぐりが少ない。
 - ④ 右下に小さなリスがいる。